

2024 年度 事業報告書

学校法人 白頭学院
建国高等学校・中学校・小学校
認定こども園 建国幼稚園

1. 本校の教育方針

「韓日、アジア、世界で活躍する子どもたちの学校をめざして」一人一人の可能性を育み、自由闊達な探究と本校ならではの韓国語をはじめとした多言語教育の推進に一層努め、韓日、アジア、世界の懸け橋となる子どもたちの学びを深めていきます。日本における韓国文化拠点としての一翼を担い、在日韓国人社会の次世代育成はもちろん、すべての子どもたちのアイデンティティーを大切にしつつ、豊かな学力と進路指導の充実、そして多文化共生社会を牽引する学校教育をめざします。

2. 本校の教育目標

韓日友好を基本に、「自主、相愛、勤儉、精詳、剛健」を校訓に掲げ、互いを理解し、懸命に学び、探究心をもって様々な問題に立ち向かい、主体的に生きる力を伸長させることのできる学校を目指します。韓国語、日本語、英語などのことばの学びを通し、コミュニケーション力を高め、高い目的意識をもって、社会に貢献する人材となることを期待します。

3. 学校沿革

1946 年 建国高等学校、建国高等女学校 創立

1947 年 建国中学校に改称

1948 年 建国高等学校設立

1949 年 建国小学校設立

文部省より財団法人白頭学院 認可

学校教育法第 1 条に依る学校として認可される。

1951 年 財団法人から学校法人へ組織変更する。

1985 年 日本私立学校連合会 加盟

1986 年 創立 40 周年 記念式典挙行

1996 年 創立 50 周年 記念式典挙行

1997 年 幼稚園 学校法人の認可を受け、日本学校教育法第 1 条に依る法的資格を得る。

2006 年 創立 60 周年 記念式典挙行

2013 年 新校舎建設開始 幼稚園 新制度（施設給付型幼稚園）に移行

2015 年 新校舎竣工

2016 年 創立 70 周年 記念式典挙行

2019 年 幼稚園が認定こども園に移行認可を受ける。

2023 年 新教育棟竣工

4. 在校生、卒業生(単位：人)

	在校生	卒業生累計
幼稚園	59	708
小学校	146	2332
中学校	60	4276
高等学校	130	5126
合計	395	12442

5. 教員数

	人数
校長	2
顧問	1
教頭	4
教師（男）	19
教師（女）	27
講師（男）	3
講師（女）	13
合計	69

6. 施設・設備の増築改築などについて

新校舎竣工（2015 年度）

体育館空調設備(冷暖房)完工(2017 年度)

新教育棟竣工(2023 年度)

7. 教務関係について

2021 年 11 月 白川重雄理事長就任

2021 年 3 月 李鐘建 園長及び校長退任

2022 年 4 月 金秀子 建国幼稚園園長就任

黄裕錫 建国小・中・高等学校校長就任

2023 年 4 月 金秀子 建国幼・小・中・高等学校校長就任

大坪真哉 建国中・高等学校副校長就任

黄裕錫 建国小・中・高等学校副校長就任

松崎隆行 建国中・高等学校教頭就任

李福子 建国小学校教頭就任

康龍江 認定こども園建国幼稚園副園長就任

2024 年 4 月 大坪真哉 建国幼・小・中・高等学校顧問就任

金秀子 建国中・高等学校校長就任

黄裕錫 認定こども園建国幼稚園園長・建国小学校校長就任

2024 年 11 月 河相吉理事長就任

8. 財務の概要

2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別途記載

（収入について）

- 1) 高校は生徒数の減少(前年比 16 名減、ピーク時の 2020 年度比 53 名減)を反映して、2020 年度との比較で納付金は約 24,500 千円、補助金も約 21,500 千円減少している。なお、国からの「就学支援金」は納付金の授業料収入に計算されており、大阪府の「授業料支援補助金」は補助金収入に計算されている。
- 2) 中学は生徒数大幅減(前年比 35 名)により昨年比で納付金 9,600 千円及び補助金 5,400 千円を減らしている。
- 3) 小学校は生徒数は大きな変化はないが、施設協力費 15,000 円を 2024 年度 30,000 円に改定し、2023 年度に新設した教育充実費 20,000 円(一人 1 台の ipad 環境を整備する)の効果が収入にあらわれている。昨年比で納付金 2,510 千円増、補助金は 874 千円減となっている。
- 4) 幼稚園収入のほとんどは補助金収入による。前年度比較で 20,600 千円増えている。これは人事院勧告及び園児数が年度当初から多かったこと及び教員数が一定程度増えたことで人件費にかかわる補助金が増えたことによる。
- 5) 寄付金収入
寄付金のうち韓国政府からの補助金(286,764 千円)が大きい。なお補助金はドル建てで支給されるので為替によって変動する。今年度の特異所用の内訳は吹奏楽部の楽器 300 万円、懸垂幕 220 万円以外は中高のホワイトボード及びプロジェクターの購入費用の 70%となっている。

（支出について）

- 6) 人件費支出
2024 年度の退職金支出は 46,224 千円と特に大きな額となり、退職金を引いた前年度比は 26,789 千円となっている。幼稚園 7,500 千円、小学校 13,800 千円増加の一方で、中学 24,125 千円、高校 22,178 千円の減少となっている。これらは年度の変わる時期に管理職の高校から小学校への部門変更、高校管理職の退職、中学校で定年退職者を迎えたことによる。
- 7) 教育研究費支出>報酬委託手数料
教育研究費支出全体では大きな変化はないが、報酬委託手数料が全般的に増えており、特に高校は倍増している。その主な要因は外国ルーツの子どもを受け入れるための日本語教育の委託費、放課後学習支援、第三者委員会の報酬(※これは 2025 年度に保険会社から入金される)となる。
- 8) 管理経費支出>広報費支出
全般的に大きな変化はないが、広報費支出が大きく抑えられている。これは前年度、前々年度

にテレビ、ラジオなどのマスメディアでの広報(財源は前理事長の寄付金による)を展開したが、2024年度は実施しなかったためである。

9) 管理経費>施設関係支出

前年度まで2年間増築校舎新館の費用を計上していたが、今年度は大きな支出がなく大幅に抑えられている。2023年度 65,678 千円 2024年度 2,098 千円

10) 管理経費>設備関係支出

韓国政府より2023年度末に通園通学バス2台分の購入費の70%の補助金が支給されていた2024年度中にバスを購入したため支出が増えている。

11) 現金預金

234,352,193 円。前年度と大きな変化はなし。